

校長室だより



令和7年2月25日

春日井市立松原小学校

学校評価アンケート（見守りの方々編）

本年度も、毎日子どもたちの登下校を見守ってくださっている見守りの皆様に、子どもたちのようすや学校についてのアンケートに答えていただきました。ご協力ありがとうございました。

- | | | | | | | |
|---|----------------------------|------|------|------|------|------|
| 1 | 子どもたちは毎日楽しく学校生活を送っている | A 5人 | B 7人 | C 0人 | D 0人 | E 0人 |
| 2 | 子どもたちはあいさつできる | A 2人 | B 7人 | C 3人 | D 0人 | E 0人 |
| 3 | 子どもたちは思いやりとやさしさのある子に育っている（ | A 5人 | B 4人 | C 1人 | D 0人 | E 2人 |
| 4 | 子どもたちは話を最後まで聞ける子に育っている | A 6人 | B 4人 | C 0人 | D 1人 | E 1人 |
| 5 | 学校は家庭や地域に情報を分かりやすく伝えている | A 4人 | B 7人 | C 1人 | D 0人 | E 0人 |
- (A：思う B：おおむね思う C：あまり思わない D：思わない E：分からない)

○家庭的な温かい雰囲気伝わります。班の中に一人でも元気な子、あいさつする子がいると全体が元気にあいさつしたり、にこにこしたりして登校するように変化が感じられます。

○子どもたちの笑顔から元気をもらえます。「笑顔は太陽よりも暖かい」

○校長室だより等にて、子どもたちの学校での情報が分かり、通学団の子どもたちの話している内容が知れてほっこりします。ありがとうございます。

○あいさつが大変よくできるように見受けます。

○見守りを10年続けてきて、南門の前に立っていると「ありがとう！」と言ってくれる子が増えていると感じます。たった10～15分のことでも少し役立っていることをうれしく思います。

○声を出してあいさつのできる子どもたちが増えたように思います。班長さんが率先して「声出し挨拶」のできるグループは、1・2年生もそれに倣うようですが、中学年も次の班長候補として「声出し挨拶」の習慣を定着させたいものです。＜得意な分野を広げる＞→＜自己肯定感を深める＞つまづいてもへこたれない松原っ子は自己主張できる人に育っていくことでしょう。

○小学校教育の原点は「あいさつとそうじができる子」を育てることだと思っています。明るい表情で元気よくあいさつできる子は思いやりの心が育っています。掃除をがんばる子は勉強もがんばります。集中力が身につけているからです。是非「あいさつとそうじのできる子」を育ててください。

●朝のあいさつができない子が多数います。

☛「おはよう」「ゴミ拾いありがとう」「ってきます」毎日子どもたちは、笑顔で言ってくれます。私の元気の源です。

☛「笑顔であいさつ」できる子どもたちがもっと増えていくことを願い、学校でも声かけしていきます。

☛登下校中の子どもたちの様子やサポーターさんの温かい子どもたちへの想いが保護者の皆様や子どもたちに伝わることを願っています。主要な信号や横断歩道で、見守りボランティアの皆さんが、毎日登下校を見守ってくださっていることは、決してあたり前のことではありません。子どもたちの安全な登下校のために、保護者の皆さんも自分事として真剣に考えないといけないと考えます。登下校中「自分の命は自分で守る（自助）」ために、子どもたちができること、保護者の皆様ができることをご家庭でも話し合い、声かけをしていただくと助かります。

☆ 笑顔であいさつ しっかり聞こう 元気にすごそう ☆



まいにち
みまもり
ありがとう!



0の日には、地域の皆さんが横断歩道で見守ってくださっています

雪や雨で傘をさすときは、班ごとにまっすぐ一列で登校します



横断歩道では、手をあげて渡ります。保護者の方の見守りも助かります



通学班ごとに、きちんと順番を守って、譲り合って登校しています



一斉下校の日は、先生たちが「さよなら」と声をかけて、見送ります